

# ζωήν αἰώνιον

ゾーエーン アイオーニオン

知っておきたいキリスト教のことば (22)

## 永遠の命 えいえんのいのち

「永遠の命」、この言葉ほど、理解の難しいものはないのではないかと、わたしは思います。永遠の命は、新約聖書の中に 43 回も出てきますが、その意味がよくわからない、というよりも、別の意味で捉えてしまうことがあるからです。

永遠の命と聞きますと、ずっと死なないことだと思っていました。そしていつまでも生き続ける、そのように感じていたのです。しかしクリスチャンの人にだって死は訪れます。信仰を持っていても、必ず死ぬのです。

では聖書のいう永遠の命とは何なのでしょう。イエス様の周りには、永遠の命を得るには何をすればよいかと、イエス様に質問をする人が出てきます。イエス様はある時は善いサマリア人のたとえを語り、また財産を売り払うようにと諭します。しかし、永遠の命とは良いことをしたご褒美として与えられるわけではないのです。

右にあるヨハネ福音書の言葉にある通り、神さまはわたしたちが一人として滅びることを良しとされませんでした。イエス様を信じる人が神さまの支配の中に、救いの恩恵の中に入るようにと、み子を遣わされたのです。イエス様を救い主として受け入れるわたしたちは、肉体は滅んだとしても、神さまのみもとで永遠に生かされる、それが永遠の命なのです。

キリスト教のお葬式に初めて参列した方が驚かれることがあります。それは聖歌を歌う声や祈りの声、そして牧師のメッセージに希望があるからです。地上でのお別れに涙は流れます。しかしそこには、また会う時まで、神さまが天に召された方の魂を憩わせてくださる、そしてその時が来たら、自分もその交わりの中に加えてくださる。その確信がわたしたちにはあるのです。

永遠の命、それはあなたにも与えられます。

次回は「栄光」です。お楽しみに。



「ニコデモに説明するキリスト」

ヤーコブ・ヨルダーンズ(1593~1678年)

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

(ヨハネによる福音書 3章16節)

